

អបអរព្រះរាជពិធីបុណ្យចម្រើនព្រះជន្ម
ព្រះករុណា ព្រះបាទសម្តេច
ព្រះបរមនាថ នរោត្តម សីហមុនី
ព្រះមហាក្សត្រនៃព្រះរាជាណាចក្រកម្ពុជា



Happy Birthday HIS MAJESTY
**PREAH BAT SAMDECH PREAH
BAROMNEATH NORODOM SIHAMONI**
THE KING OF CAMBODIA

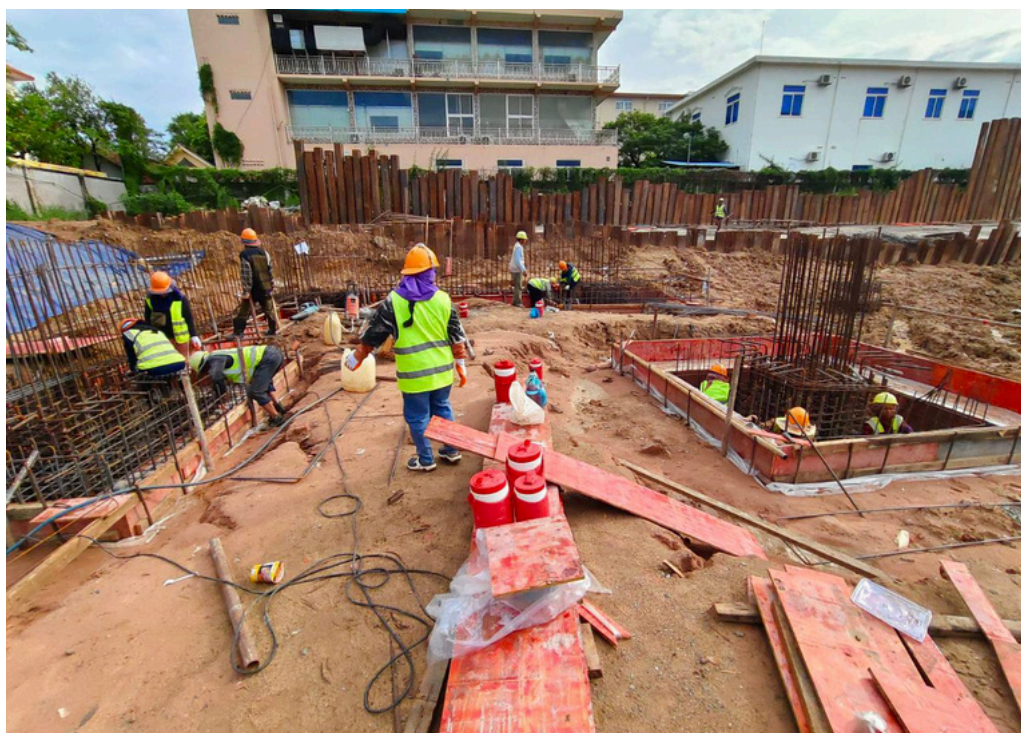


GOLDEN CAMBODIA CENTURY

5月のGCCO建設進捗報告です。

GCオルセーマーケットの工事進捗のご報告です。

地下駐車場の作業も日々順調に進んでおります。工事現場の安全を確保しながら、スピーディーな工事進行を目指しています。





2024年05月13日

5月13日月曜日、「GC Realty Networking and Recruitment Event」が開催されました。本イベントは、不動産業界でキャリアをスタートしたい方や、仕事の経験や教育機会がない方々を対象に開催されました。







LA VISTA
ONE

5月のLVO建設進捗報告です。

A棟は、エアコンの設置が完了し、家具の設置とシャワールームのガラスパーティションの進捗も順調です。B棟では、重要な天井仕上げおよび吊り棒の設置が完了し、指定された階でのタイル敷設が完全に終了しました。



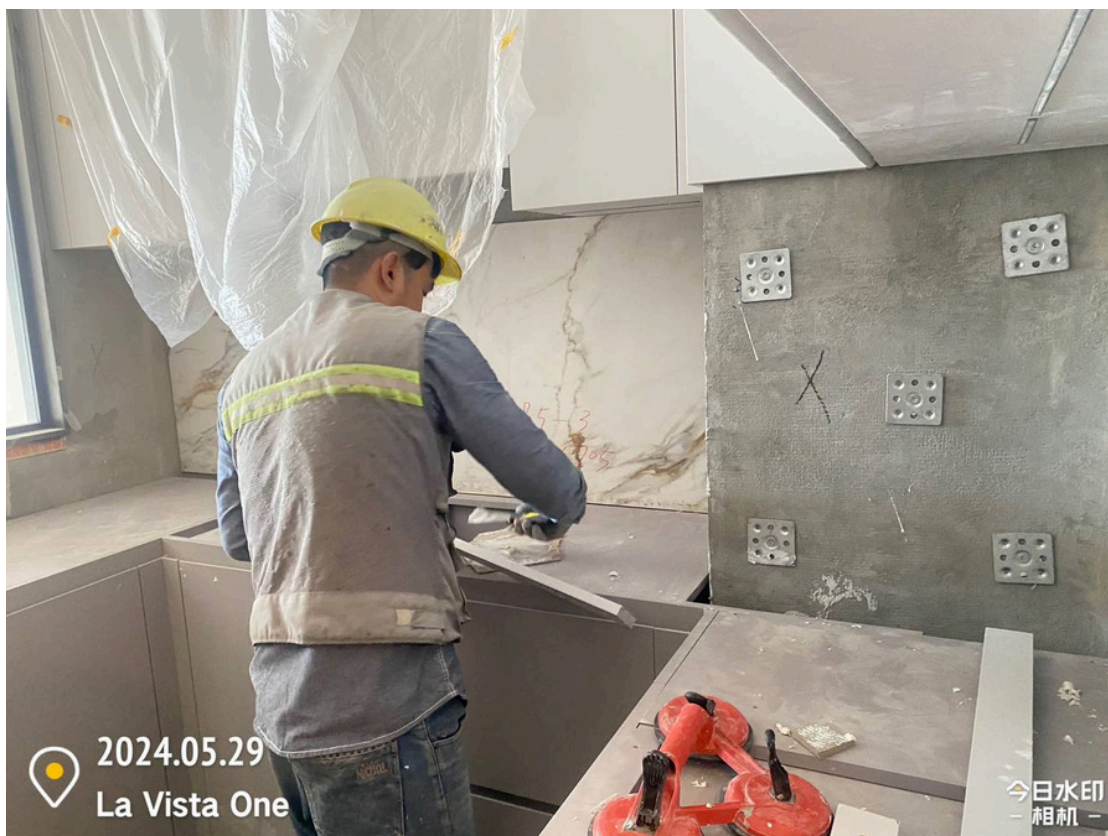
A棟

- エアコン：ショールームフロアへの設置が完了しました。
- 家具設置：ショールームフロアの70%が完了しました。
- シャワールームのガラスパーティション：3種類のユニットで設置が完了しました。

B棟

- 天井の封板：20階から19階の天井の封板が完了しました。
- バスルーム：20階から10階、38階から35階のバスルームの天井の吊り金具の取り付けが完了しました。
- タイル張り：20階から14階、38階から37階のがすべて完了しました。







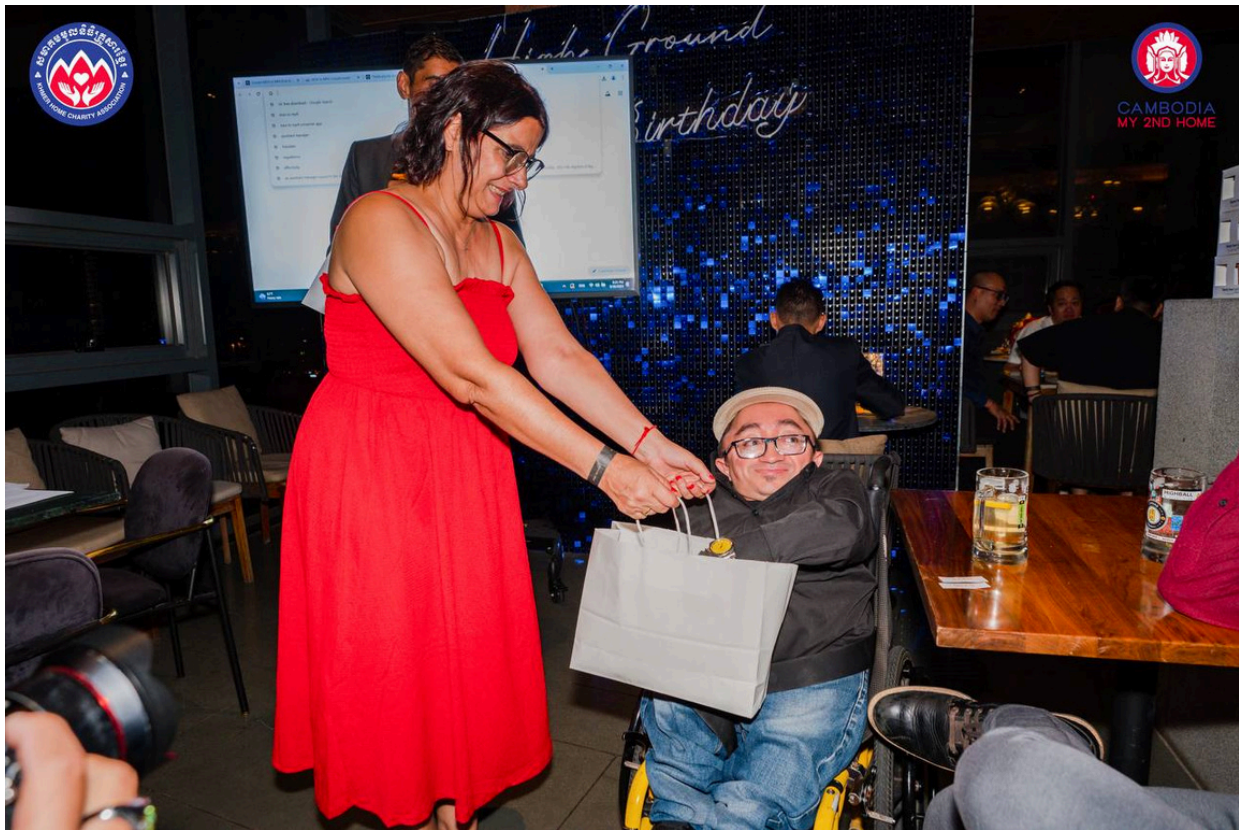
CAMBODIA
MY 2ND HOME

Latest Information

2024年05月30日

5月30日、KHCA(Khmer Home Charity Association)は、シャンティタウンスピリット協会の創立10周年祝賀レセプションにスポンサーとして参加しました。現在、シャンティタウンスピリット協会は、40の機関や企業から支援を受け、地域社会に公共福祉を推進しています。





CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2024年05月22日

カンボジア、2024年外国直接投資新興市場ランキングで首位に



出典：[Cambodia gears up for LDC graduation challenges](#)

カンボジアが2024年の外国投資において、英国のビジネス出版社「外国直接投資（FDI）」によるグローバルインデックスで1位にランクされました。この評価は、力強いGDP成長率、低インフレ率、急速な外国直接投資の増加に基づいています。カンボジアのGDPは6.1%の成長、インフレ率は3%、外国直接投資の資本支出は393%増、新規プロジェクトは110%増と報告されています。政府の積極的な政策と観光市場の成長も評価の要因です。他の上位国にはフィリピン、ケニア、イラクなどが含まれます。

2024年05月16日

カンボジア、2024年初頭に衣料品・履物・旅行用品の輸出が17%増加



出典：[Cambodia records 17 pct rise in garment, footwear, travel goods export in first four months](#)

カンボジア商務省が5月15日水曜日に発表した報告書によると、2024年1-4月期に37億6,300万ドル相当の衣料品、履物、旅行用品（GFT）を輸出し、前年同期の32億1,100万ドルから17%増加しました。アパレル・繊維製品は27億4,800万ドルで20.4%増、履物は4億5,370万ドルで3.8%増、旅行用品は5億6,200万ドルで14%増となりました。アジア開発銀行のプーラン・ドゥン氏は、GFT部門の成長がカンボジアの経済成長率（2024年は5.8%と予測）に大きく寄与すると述べています。GFT産業は約91万8,000人を雇用し、同国の最大の外貨獲得源となっています。

2024年05月15日

カンボジア、UAEとの経済関係を拡大を呼びかけ



出典：[Serey says KHR available for exchange at Tokyo's airport](#)

カンボジアのフン・マネット首相は、UAE投資家に観光、農業、技術、クリーンエネルギーインフラへの投資を呼びかけました。UAE駐カンボジア大使との会談で、カンボジア-UAE包括経済連携協定（CEPA）の発効後、両国の関係強化策を議論しました。カンボジアは62%のクリーンエネルギー消費を達成し、観光産業の成長も期待されています。CEPAにより、貿易障壁が撤廃され、非石油貿易の総額を2030年までに10億ドルに倍増させることが目指されています。

2024年05月15日

カンボジア、今年1-4月期に75の新工場を登録



出典：75 new factories opened in Cambodia this year

カンボジアの産業・科学・技術・イノベーション省（MISTI）は、今年1-4月期に75の新工場を登録し、国内の登録工場数は2,195に達したと発表しました。これらの新工場のほとんどは衣料品工場であり、主な投資国は中国、韓国、日本、タイでした。4月だけで20の新工場が登録され、19の工場が生産を再開し、総投資額は2億8,400万ドルに達しました。全工場は合わせて158万人の雇用を創出しました。カンボジアの外国直接投資（FDI）は製造業プロジェクトに集中し、電子機器製造やデータセンター設置、車両組立などが含まれています。今年1-4月期の輸出額は80億ドルで、前年同期比15.2%増加しました。

2024年05月15日

カンボジアとカナダ、二国間の貿易・投資協力を称賛



出典：Cambodia and Canada laud bilateral trade and investment cooperation

カンボジアとカナダは、二国間の貿易・投資協力を称賛し、地域的な連携を強化し、ASEAN-カナダ自由貿易協定の締結を確認しました。カンボジア開発評議会（CDC）のスン・チャントール副首相兼第一副議長と新任のカナダ大使、ピン・M・キトニコネ氏の会談がCDC本部で行われました。2050年にカンボジアが高所得国になるビジョンに基づき、自動車や電子機器などの分野への外国投資を拡大する必要性が強調されました。CDCはまた、150万人の若者に職業訓練を提供する計画や、カナダのカンボジア社会経済発展への貢献に感謝の意を表明しました。キトニコネ大使もカンボジアの平和と安定、特にABA銀行などのカナダ企業の活発なビジネスと投資を評価しました。

2024年05月14日

韓国企業、カンボジアのクリーンエネルギーセクターへの投資計画



出典：Korean firm plans to invest in Kingdom's clean energy sector

韓国のHyuckjin Energy Plant Engineering社は、カンボジアで廃棄物をクリーンエネルギーに変換する計画を提案しました。日々100トンの廃棄物から25メガワットの電力を生み出します。スン・チャントール副首相は提案を歓迎し、他の企業や投資家も廃棄物のリサイクルを通じてカンボジアの電力プロジェクトに投資すること奨励しました。クリーンエネルギー目標達成に向け、再生可能エネルギー展開や電力取引を進めています。

2024年05月10日

カンボジアと日本、経済関係を強化へ



カンボジアと日本は、貿易と投資を促進するために経済関係を強化することを決定しました。5月8日、東京の日本貿易振興機構（JETRO）で開催されたビジネスマッチングイベントで、スン・チャントール副首相がカンボジア代表団を率い、カンボジアの投資環境の魅力を強調しました。日本はカンボジアにとって5番目に大きな貿易相手国であり、両国の貿易は2024年第1四半期に11%増加しました。主な輸出品には衣料品や家具が含まれ、インフラプロジェクトも進行中です。

出典：[Cambodia, Japan to strengthen economic ties](#)

2024年05月08日

カンボジア、日本に投資環境の理解促進を要請



出典：[Cambodia asks members of Japan-Cambodia Parliamentary Friendship Association to help spread understanding of the investment climate in Cambodia to Japan](#)

カンボジア開発評議会のスン・チャントール副首相兼第一副議長は5月7日、来日中の日本・カンボジア友好議員連盟の今村雅弘会長と会談し、今後の協力関係について意見交換しました。副首相は日本の経済界にカンボジアの投資環境を広める協力を要請し、日本の社会経済発展への貢献を強調しました。今村会長はカンボジアの評判や投資機会を日本に広める意向を示し、両国の友好関係をさらに強化する意志を表明しました。

2024年05月08日

カンボジア、4月に3億1,000万ドルの投資を誘致



出典：[Cambodia attracts \\$310M investments in April](#)

カンボジアは今年4月、3億1,000万ドルの固定資産投資プロジェクトを登録し、前年同月比で47%減少しました。承認されたプロジェクト数も66%減少しました。中国の投資が98%を占め、最大の外国直接投資源です。これらのプロジェクトは約23,000の雇用を創出し、主に経済特区内で衣料品や履物の製造に関連しています。政府はビジネス環境の改善に向けた政策を進めており、民間部門の課題にも取り組んでいます。2023年には49.2億ドルの固定資産投資を誘致しました。

2024年05月07日

カンボジアと日本、二国間の貿易・投資協力について協議



出典：Cambodia, Japan discuss bilateral trade and investment cooperation

カンボジア商業省副大臣リム・ロークピセット閣下は、駐日カンボジア大使のトゥイ・リー氏を伴い、このほど宮城県仙台市の仙台市役所で仙台市の高橋伸一副市長と会談し、経済、貿易、観光、文化、教育、保健の分野におけるカンボジアと仙台の二国間協力について話し合いました。仙台側は、カンボジアでの投資および貿易機会に関する実現可能性調査を行う予定です。会談では、仙台にあるカンボジア名誉領事館、東京でのカンボジアフェスティバルへの参加、カンボジア商工会議所の決定を修正するための要請についても話し合われました。

2024年05月07日

カンポット観光港、第3四半期に供用開始へ



出典：Kampot port set for Q3 launching

カンポット国際観光港が2024年第3四半期にオープンします。アジア開発銀行（ADB）からの融資により建設されたカンポット国際観光港は、2024年第3四半期に操業を開始し、タイやベトナムとカンボジアを結ぶクルーズ船のゲートウェイとしての役割を果たします。新しい国際港は、カンボジア経済に貢献し、雇用機会を創出し、地元の人々や企業の収入を増加させることが期待されています。また、政府の観光振興政策にも一致しています。

2024年05月07日

第1四半期のCSX取引口座数、32%増加



出典：32 percent rise in CSX trading accounts in Q1

カンボジア証券取引所（CSX）の取引口座数は、今年第1四半期までに51,044件に達し、前年比で31.67%増加しました。しかし、1月から3月までの総取引量は前年同期比で37.92%減少しました。CSXは1月に新しい取引メカニズムを導入し、11月にはオンライン取引口座開設プラットフォームを立ち上げました。昨年は記録的な上場を果たし、22社が新たに上場し、そのうち11社は証券会社でした。2011年に設立されたCSXは、国内唯一の証券取引所であり、証券の取引を提供し、資本市場の発展を促進しています。

2024年05月07日

NBCとASEAN+3、金融セキュリティ強化に向け連携



出典：[NBC, ASEAN+3 enhance ties to strengthen financial security](#)

カンボジア国立銀行（NBC）は、日本、韓国、中国を含むASEAN+3諸国と地域の経済成長を促進するため、協力強化することに同意しました。NBCチェア・セレイ総裁は、5月3日、ジョージアのトビリシで開催された第27回ASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会議に代表団を率いて参加し、地域金融協力の強化に合意されました。また、ASEAN+3マクロ経済研究所（AMRO）の業績向上、ASEAN債券市場イニシアティブ（ABMI）および災害リスクファイナンス（DRF）の開発が継続されることも討議されました。

2024年05月06日

商務省、日本からのカンボジアへの投資拡大を呼びかけ



出典：[Govt calls for more Japanese investment in Kingdom](#)

カンボジア商務省は、トヨタ通商製造（カンボジア）株式会社などの世界的に認知された日本企業がカンボジアでビジネスを拡大した後、日本の投資家にカンボジアへの投資を促しています。商業省副大臣リム・ロークピセット閣下は、5月3日、4日に開催されたカンボジアフェスティバルでの演説で、日本との経済協力の強化を強調し、新たな投資機会を模索するよう呼びかけました。イベントでは、カンボジアの製品や文化も紹介されました。

2024年05月03日

首相、カンボジア・日本の産業協力を強化へ



出典：[PM commits to enhancing Cambodia-Japan industrial cooperation](#)

フン・マネット首相は、5月2日の木曜日の午前中、プノンペンのロイヤルグループ・プノンベン特別経済区における新しいトヨタ組立工場の落成式で、カンボジアと日本の更なる関係強化を発表しました。この工場は、カンボジアの若者にトレーニングの機会を提供し、自動車技術を国に移転することを目指しています。工場の投資資本額は3,678万ドルで、150人のスタッフが雇用されており、カンボジアの産業開発の野心の前進を象徴しています。

2024年05月03日

カンボジア、自動車部品と電子部品の世界生産ハブへ



出典：Toyota vrooms in: Cambodia aspires to become a production hub of auto parts and electronic components to global markets

日本のトヨタ通商株式会社とカンボジアのコンヌン・グループの合併事業が、プノンペンの特別経済区に新しい自動車組み立て工場を開設し、カンボジアの新車市場に参入します。この工場は、「トヨタ通商製造（カンボジア）有限会社」と呼ばれ、ロイヤルグループプノンペン特別経済区に位置しています。2024年の年間生産目標は1,320台で、合併事業は国内市場向けにハイラックスとフォーチュナー車を組み立てます。工場には150人が雇用され、約4ヘクタールの土地への投資額は約3,678万ドルと推定されています。

2024年05月03日

IMF、2014年を基準としたカンボジアのGDPを35%上方修正



出典：IMF revises Cambodia's GDP up 35% with 2014 base

国際通貨基金（IMF）が発表した2024年4月の世界経済見通しによれば、カンボジアの2014年を基準年としたGDPは以前に比べて35%拡大しました。IMFによると、2023年のGDPは419億ドルであり、アジア開発銀行の319億ドルと比較されます。IMFの展望では、今年の実質GDP成長率は6%、2025年には6.1%を予測しています。再基準は、国立統計研究所による厳格なプロセスの結果です。

2024年05月02日

エアアジア、カンボジアの旅行者に新たな旅路を開拓



出典：AirAsia heralds new pathway for Kingdom's travellers

マレーシアのAirAsiaとカンボジアの地元企業Sivilai Asiaの共同出資による新たな航空会社を立ち上げます。初期の2機のAirbus A320を投入し、'AirAsia Cambodia'としての7つ目の航空会社が誕生します。同社は、プノンペン、シェムリアップ、プリアシハヌーク州の3つの目的地に向け、初年度に130万人の乗客を輸送する目標を掲げています。

2024年05月01日

カンボジアのカジノ、タイの競争に備える



出典：[Cambodian casinos brace for competition from Thailand](#)

タイの議会が、観光振興と裕福な観光客の誘致を狙い、カジノ産業の合法化案を可決しました。これにより、カンボジアのカジノ事業には外国人専用という状況下で競争が生じる恐れがあります。また、この計画は国内の違法賭博に対する取り組みに加えて、追加の観光収入も期待されます。カンボジア支部会長のトゥルン・シナンも、タイでのカジノ導入がカンボジアのカジノビジネスに影響を及ぼす可能性を認識しています。

2024年04月29日

カンボジアの対日輸出が18.4%増加



出典：[Cambodia's exports to Japan rise 18.4%](#)

カンボジアの対日輸出額は、第1四半期で3億6500万ドルに達し、前年同期比で18.4%増加しました。これにより、日本はカンボジアにとって第4位の輸出先となりました。二国間貿易額は5億700万ドルに達し、前年同期比で11%増加しました。カンボジアの主な輸出品は、衣料品、バッグ、履物、家具、化粧品、紙および事務用品、革製品であり、輸入品は機械、車両、電子機器、家具、織物、プラスチックです。貿易の拡大は二国間関係を強化し、日本国際協力機構（JICA）からのインフラ開発支援も増加しています。

2024年04月27日

Connect2Grow：カンボジアへの投資が大きな利益をもたらす



出典：[Connect2Grow: Investing in Cambodia to pay rich dividends](#)

シンガポールはカンボジアにとって重要な投資国であり貿易パートナーです。Connect2Growは、中小企業や中堅企業がネットワークを築き、ビジネスパートナーシップを確立するために重要です。イベントには、カンボジアで既に事業を展開している企業や、カンボジア企業との連携を目指す企業を含め、10社以上のシンガポール企業が参加しました。カンボジア政府は投資を促進するために税制優遇措置、規制の簡素化、特別経済区の設置を行っています。両国はお互いに学びConnect2Growを通じてネットワークを活用できます。

2024年04月26日

カンボジア、米国の継続的な支援を求める



出典：Cambodia keen on continued US support

カンボジアは、戦争で荒廃した経済の再建において重要な役割を果たした米国に対し、継続的な支援を求めました。副首相のスン・チャントール氏は、関係を強化し、若者のスキル向上プログラムに貢献している米国大使を称賛しました。彼は将来、米国を訪問し米国企業にカンボジアへの投資を促進する計画です。米国国際開発庁（USAID）は、カンボジアが2030年までに上中所得国、2050年までに高所得国になることを目指す努力を支援しています。

2024年04月24日

インドネシア、カンボジアとの貿易関係拡大に意欲示す



出典：Indonesia keen on expanding trade ties with Cambodia

インドネシアは、カンボジアとの貿易協力を米にとどまらずデジタル分野やグリーンエネルギーにも拡大しています。インドネシアのサント・ダルモスマルト大使は、米中などの大国だけでなく日本や欧州諸国のような小国の影響を考慮し、世界のパワーライバル関係について議論しました。また、貿易における課題として物流の問題を挙げ、「カンボジアとインドネシア間の取引量が増えれば、物流コストが下がると期待しています」と述べました。

2024年04月24日

6月30日、日本でカンボジア村開村



出典：Khmer Village set to open in Japan on June 30dends

6月30日、神奈川県伊勢原市にカンボジアの村がオープンします。この村は、カンボジアの製品や文化を紹介し、外国人客、日本人客、そして日本で働いたり勉強したりしているカンボジア人を呼び込む予定です。小島ホールディングスの取締役社長である岡見健氏が率いる日本の代表団は、村の準備状況について、労働職業訓練大臣のヘン・ソウル氏に報告しました。

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

